

2014年3月29日
名古屋外国語大学

本学教員の研究不正行為に関する学長コメント

本学教員が、学内の紀要への投稿論文において盗用を行ったことは、誠に遺憾であり、関係各方面に対して心よりお詫び申し上げます次第です。本件の要因は、第一に、研究業績に対する過度の焦りであり、それが不幸にして、研究者としてあるべからざる倫理の喪失を招くに至りました。

この教員は、非常に教育熱心で、学生からの人望も篤く、私自身、大学運営面で労を惜しむことなく精励する姿に接してきただけに、痛恨の極みであります。

今後、このような不正行為の再発を防止すべく全学的な指導体制を整え、研究者としての倫理意識の徹底、規律遵守、論文投稿手続きの見直し等、万全の方策を講じてまいる所存です。